



こんにちは 和田あき子です

新年度予算案の反対討論 — 県民の願い最優先の県政へ —

2月県議会に提案された新年度予算案の総額1兆848億円余は過去最高額です。長野県が先進的な目標をかかげる脱炭素社会に向けたとりくみや、子ども医療費の助成対象の拡大を評価。

コロナ禍で厳しい環境にある県民の不安を受け止め、県民の願いを最優先する県政へ根本から改革を進めるよう求め、予算案の反対討論をしました。(詳しくは裏面をご覧ください。)



建設委員会

長野県は2050ゼロカーボンの実現に向けて、全国的にも先進的な目標を掲げています。行政だけでなく民間の取組が重要です。建設部として建設関連業界の取組を促進することを質問しました。

リニア中央新幹線工事現場で相次いで人身事故が起こっている問題について、JR東海はガイドラインに沿って工事の安全対策をしているというが、事故がひん発している点を指摘し、JR東海任せではなく、専門的な知見を持っている方々が入って安全対策に取り組むよう求めました。

また、風越山トンネル工事はシールド工法が採用されるが、東京外環道で大深度工事にもシールド工法により大規模な崩落が起きて、工事が止まっていると質問。この工区は一帯の地盤が脆く、水を通しやすいためシールド工法を予定していると答弁がありました。リニア中央新幹線計画そのものに反対の立場ではあるが、一層の安全確保を求めました。



危機管理委員会

オミクロン株は重症化しない、軽症・無症状が多いとされ6～7割が自宅療養となっています。しかし、オミクロン株の特徴は肺炎悪化・エクモ装着の重症例は少ないが、高齢者を中心に基礎疾患の憎悪による死亡例が増えていること、全身性の炎症性疾患と指摘があり、オミクロン株の感染を軽く見ることは戒めるべきと質問しました。

1月臨時議会 — 補正予算案質疑 —

国の補正予算を受けて、885億円の過去最大規模の補正予算を審議するため、1月14日に開かれた臨時県議会で共産党県議団を代表して質疑をしました。

補正予算案は「新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守る予算が24億円で3%とあまりにも少ない」と指摘。「県内すべての市町村が福祉灯油を実施している。生活困窮者支援は検討したの

か」、「米価暴落対策でもコメ農家への助成に踏み出す自治体があることから、生産者が意欲を持って営農をする観点で予算を組んだのか」また「防災・減災対策などの予算が約470億円と突出しており、国庫補助を活用しても259億円を超える県債発行が余儀なくされ、将来負担が大きくなる」ことなどを質しました。

令和元年東日本台風—台風19号災害

住民の要望を提案・実現

長野市篠ノ井塩崎地籍で千曲川が越水し、住宅地側堤防が大規模に削られ、復旧工事が行われています。

地元地域や住民自治協議会などで、川側だけでなく住宅地側もコンクリートで覆う、被覆型堤防の要望が強くなり実現しました。



千曲川で被覆型堤防工事が実現



塩崎遊水地予定地を黒沢市議と調査

19号台風被害の復旧工事とともに、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにより、国土交通省は塩崎遊水地を計画し、地元住民説明会など開いてきました。遊水地の予定地は、果樹・野菜・施設栽培など多様な農地活用がされており、地権者や耕作者の意向をアンケート調査しています。

地元への丁寧な対応を求めています。

ご意見・ご要望をお寄せください。

日本共産党県議会報告

No. 12 2022年4月 【2022年2月定例議会報告】

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

